学校番号	3021

令和２年度　地理歴史科（1 年）

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『現代の世界史』（山川出版社）						
副教材等	『最新世界史図説タペストリー 十八訂版』（帝国書院） 『現代の世界史ノート』（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶことの意義や目的は，歴史的事象の背景や原因・結果・影響などを考えることにあります。現代の世界がどのように形成されてきたのか，一緒に考えていきましょう。
・授業では受け身にならず，自分の考えを発表し，主体的に議論に参加する姿勢を求めます。

2　学習の到達目標

・世界の歴史を諸資料に基づき，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し，現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国際社会に主体的に生きる資質を養うため,近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め,意欲的に学ぶ姿勢を持っている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化をふまえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 授業での観察	定期考査 ワークシート 発表や討論	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史へのいざない	・日本列島のなかの世界の歴史 ・地理的環境と歴史と文化 ・人類の歴史の始まり	○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる主題を考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された主題について、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。	ワークシート
前期	ユーラシアの諸文明	・諸地域世界の特質 ・アジア諸国の繁栄	○	○	○	○	a:東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア、ヨーロッパの各地域に形成された諸文明の特色とその交流、および世界の一体化開始前後のアジア諸国の状況に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:諸地域世界の文明と交流の特質について、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア、ヨーロッパの各地域に形成された諸文明の特色とその交流、および世界の一体化開始前後のアジア諸国の状況について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

前期	結びつく世界と近世の日本	・大航海と世界の一体化の始まり ・16 世紀の西ヨーロッパ ・17～18 世紀の西ヨーロッパ ・16～18 世紀の東ヨーロッパ ・西欧を中心とする世界の一体化	 ○	○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a: 大航海と世界の一体化の始まりから 18 世紀までのヨーロッパの歴史、およびアジアの変化や近世の日本の対応について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 16～18 世紀のヨーロッパの特質を見いだし、世界商業の進展に関連づけて、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 16～18 世紀の時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 大航海と世界の一体化の始まりから 18 世紀までのヨーロッパの歴史、およびアジアの変化や近世の日本の対応について、理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
前期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・反動と改革 ・ナショナリズムの時代 ・南北アメリカの道	○ ○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:18～19 世紀後半の欧米世界における社会の変化と新たな社会の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 18～19 世紀後半の諸地域の変貌の特質について、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 18～19 世紀後半の欧米社会の特質と変化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 18～19 世紀後半の欧米社会の特質と変化について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
前期	アジア諸国の変貌と近代日本	・バルカン、西アジア社会の動き ・インド、東南アジアの植民地化 ・東アジアの動揺と国際秩序の変容	○ ○ 	○ 	 ○	 ○ ○	a: ヨーロッパの進出期のアジア諸国の状況および 19 世紀の世界の一体と日本の近代化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 18 世紀末～19 世紀のアジア諸国の変容の特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連づけて、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 18 世紀末～19 世紀のアジア諸国の変容について、諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: ヨーロッパの進出期のアジア諸国の状況および 19 世紀の世界の一体と日本の近代化について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

後期	急変する人類社会	・高度資本主義と大衆社会 ・民主主義と国民国家 ・欧米による世界の植民地化 ・民族運動と列強の対立	○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○ ○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭の社会の急激な変化、とくに 1870 年代から 1914 年にいたる欧米列強の事情と列強に対抗したアジアの民族運動について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 20 世紀初頭の欧米の急激な変化やアジアの動きについて、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 20 世紀初頭の欧米の急激な変化やアジアの動きについて、諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 19 世紀末から 20 世紀初頭の社会の急激な変化、とくに 1870 年代から 1914 年にいたる欧米列強の事情と列強に対抗したアジアの民族運動について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
後期	世界戦争と平和	・第1次大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制と欧米諸国 ・民族主義の新展開 ・世界恐慌とファシズム ・第 2 次世界大戦	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	a: 二つの世界大戦の原因や世界や日本に及ぼした影響と平和の意義に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 二つの世界大戦の原因や世界や日本に及ぼした影響と平和の意義について多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 二つの世界大戦の原因や世界や日本に及ぼした影響と平和の意義について諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を両大戦の影響と平和の意義と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
後期	三つの世界と日本の動向	・冷戦の形成と第 3 世界の登場 ・核戦争の危機 ・多極化と緊張緩和 ・冷戦の変質 ・冷戦の終焉 ・冷戦下の日本	 ○ 	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ 	a: 第 2 次世界大戦後の世界と日本の動きについて、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第 2 次世界大戦後の世界と日本の動きについての基本的な事柄を世界の政治・経済の動向と関連づけて多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 第 2 次世界大戦後の世界と日本の動きに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。	定期考査 ワークシート 発表や討論

							d: 第 2 次世界大戦後の世界と日本の動きについての基本的な事柄を世界の政治・経済の動向と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	
後期	地球社会への歩みと課題	・グローバル化の進展 ・変貌する世界の諸地域 ・日本の現状と未来への模索	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a: 冷戦が終わってグローバル化がすすむなかでの世界の変貌と深刻化する課題について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: グローバル化の進展と地球規模で深刻化する課題について多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:グローバル化の進展と深刻化する課題について諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 冷戦が終わってグローバル化がすすむなかでの世界の変貌と深刻化する課題について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論
後期	持続可能な社会への展望	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	 ○	 ○	○	a: 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b: 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察し適切に表現している。 c: 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d: 現代の諸課題に関する知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。